



2023年8月4日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学アート・センター主催
「Artist VoiceⅢ：駒井哲郎 線を刻み、線に遊ぶ」を開催
(2023.10.10 - 2024.1.26)

展覧会シリーズ「Artist Voice」第3回となる今回は、日本における銅版画のパイオニア・駒井哲郎（1920-1976）を取り上げます。駒井は慶應義塾幼稚舎と普通部で学び、銅版画による表現を生涯一貫して探求しました。本展では、慶應義塾の所蔵品より、版画作品や関連資料のほか、本学機関誌『三田評論』『塾』に駒井が提供した表紙絵・挿図の原画を展示します。思索を重ね、線を刻んだ硬質な版画作品に対し、挿図に用いられたペンや筆によるのびやかなスケッチからは、作家の解放的で遊び心のある一面を垣間見ることができます。

作家の線の軌跡をたどりながら、インクと紙が織り成す詩情とユーモア漂う世界をご堪能ください。

1. 基本情報

会 期：2023年10月10日（火） - 2024年1月26日（金） [土日・祝日休館]

※10月14日（土）は開館、10月16日（月）および12月28日（木）～2024年1月10日（水）は休館

開館時間：11：00 - 18：00

会 場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館1階アート・スペース）

入 場：無料

展覧会ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artist-voice03/>

※最新情報は上記、展覧会ウェブサイトをご確認ください。

主 催：慶應義塾大学アート・センター

2. 展覧会概要

展覧会シリーズ **Artist Voice** は、小さな展示室1室という施設の特性を生かして、作家の眩みや生の声を感じ取れるようなインティミットな展示を目指すものです。

第3回となる今回は、駒井哲郎（1920-1976）を取り上げます。駒井は慶應義塾普通部在学時に版画の制作を始め、当時まだ日本でなじみの薄かった銅版画による表現を生涯一貫して探求し、日本における銅版画のパイオニアと評されています。様々な銅版画技法を用いて幻想的で深淵な銅版画の世界を作り出した駒井ですが、普通部在学中に西田武雄主宰の日本エッチング研究所に通って習得したエッチングの技術は、生涯を通じて駒井の作品制作の基盤となりました。また、詩画集の装幀や挿画などのブックワークにも重要な仕事を数多く残しており、本学の機関誌『三田評論』や『塾』、幼稚舎の『仔馬』にも表紙絵や挿画を提供しています。

本展覧会では、慶應義塾の所蔵品より、版画作品や駒井哲郎関連資料のほか、これまで展示される機会の少なかった機関誌挿画の原画を展示します。思索を重ね、線を刻んだ硬質な版画作品に対し、挿画に用いられたペンや筆によるのびやかなスケッチからは、作家の解放的で遊び心のある一面を垣間見ることができます。

作家の線の軌跡をたどりながら、インクと紙が織り成す詩情とユーモア漂う世界をご堪能ください。

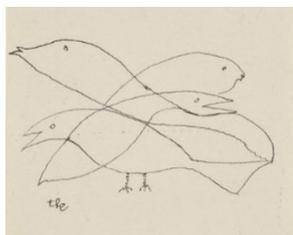
【駒井哲郎（1920-1976）】

東京都に生まれる。慶應義塾幼稚舎と普通部で学び、図画教員仙波均平の薫陶を受ける。在学中、月刊誌『エッチング』で銅版画を知り、西田武雄主宰の日本エッチング研究所に通う。卒業後、東京美術学校（現・東京藝術大学）油画科に入学。1951年第1回サンパウロ・ビエンナーレで《東の間の幻影》が受賞し、国内外で脚光を浴びる。1952年、瀧口修造を中心に結成された実験工房に参加。詩集の挿画や装幀も多く手がけ、詩人や文学者と深く交流しながら制作した。1954年渡仏。1972年、東京藝術大学にて版画を専門とする初の教授に就任。生涯一貫して銅版画による表現を探求し、日本における銅版画の地位向上に貢献した。

3. 出品作品（予定）



a



b



c

- a 駒井哲郎《丸の内風景》1938年、エッチング、慶應義塾大学アート・センター
- b 駒井哲郎『塾』『三田評論』挿図、インク、慶應義塾大学アート・センター
- c 駒井哲郎《樹木》1957年、エッチング、慶應義塾大学アート・センター

※ 本プレスリリース掲載の作品画像を使用する場合には、日本美術家連盟への著作権申請が必要です。使用者の責任においてご申請の上、ご使用をお願いいたします。

※ 実際の展示作品とは異なる場合がございます。ご了承ください。

4. 関連イベント

詳細は展覧会ウェブサイトで順次公開いたします。

<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artist-voice03/>

5. 会場案内

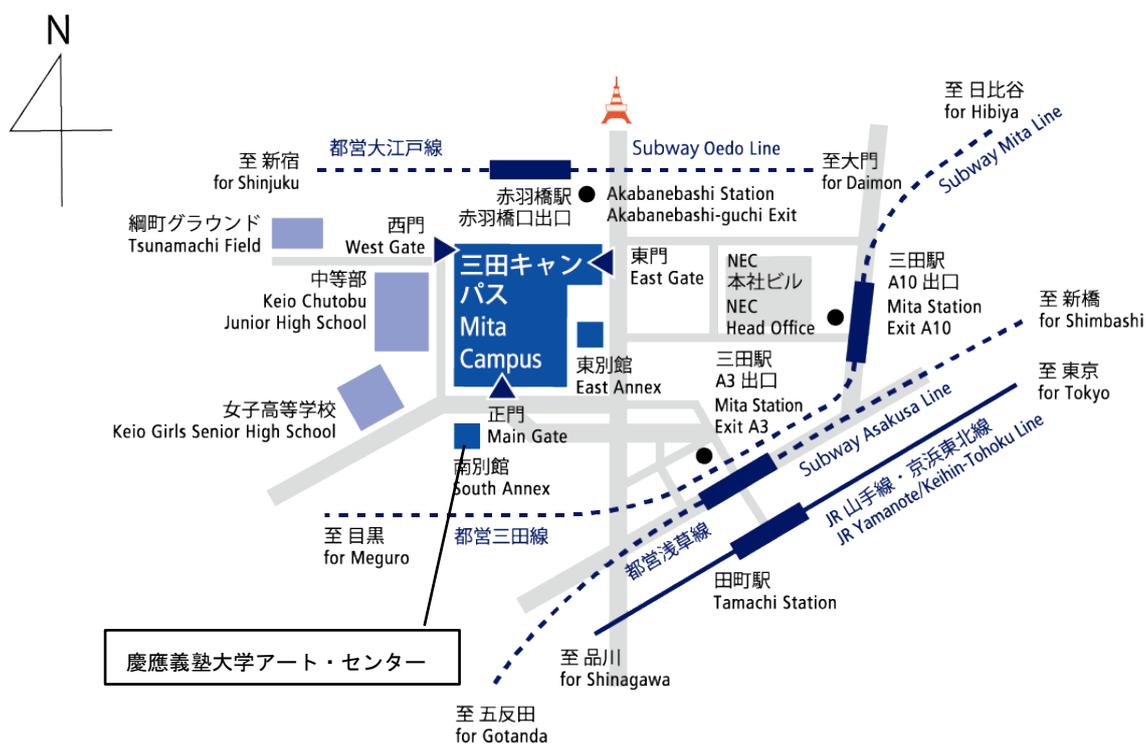
会 場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1 階アート・スペース）

住 所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田 町 駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三 田 駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>